

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会  
第 74 回 BWR 水化学管理指針作業会 議事要旨

日 時：2025 年 3 月 21 日（金）13:30～14:10

場 所：Web 会議

出席者：（敬称略）

【委員】宮重（東京）、浦田（東芝 ESS）、菅田（北陸）、梅原（JANSI）、松永（中部、鈴木代理）、  
佐藤（中国、串本代理）、長瀬（日立 GENE 清水代理）、市橋（電源開発）、中野（原電）、  
山崎（電中研）、渡部<sup>記</sup>（東北）

【オブザーバー】高木（東芝 ESS）

議事要旨：

1. 出席者の確認

委員 11 名のうち、決議に必要な定足数（3 分の 2 以上）を満たしていることが確認された。

2. 前回議事録の確認

「【P11BWG-74-1】\_第 73 回 BWR 水化学管理指針作業会議事録案」について、コメントはなく、最終版とした。

3. 標準委員会の状況について

宮重委員より標準委員会において、特に異論なく了承された旨報告があった。なお、配布資料のとおりコメントがあったため、修正を行う。

<主なコメント>

- ・改定案について、「このように」では前のどの部分を指しているか、つながりが不明確なため、「前述のように」などの記載が良いのではないか。また、「原子炉冷却材の水質悪化に伴い構造材料に腐食等の影響を及ぼすと、放射化された腐食生成物が線源となり、作業従事者の被ばく線量上昇の原因となる」との記載について、「リスクが大きくなる」旨の記載とした方が良い」（日立 GENE）

⇒拝承。（事務局）

- ・後半にタービン系の被ばくについて記載があるが、BWR における被ばくは必ずしもタービン系がメインではなく、やや違和感がある。また、そもそもこの項目は BWR のシステム構成の特徴を述べる部分であり、直接サイクルの観点でタービン系に触れている。従って、質問者へのコメント対応としては、まず、BWR 水質管理の目的全般について述べ、その上で、BWR タービン系の特徴を述べるような構成とするのが良いと考える。（東芝 ESS）

⇒標準委員会コメントの主旨も踏まえて事務局で修正案を作成し、作業会メンバーにメールで確認いただいた後、その内容を分科会で相談する方向で進めることとする。（事務局）

#### 4. 転載許諾に関する対応状況について

菅田委員および担当の委員より、「【P11BWG-74-3】\_転載許諾対応用リスト」を用いて、転載許諾の手続き状況が説明された。転載許諾は 5 件が残っており、引き続き担当委員にて対応を継続する。

＜主なコメント＞

- ・最終締切はいつ頃になるか。（東芝 ESS）

⇒公衆審査に間に合わせたいため、あと 1 ～ 2 カ月程と考えられる。（事務局）

#### 5. 次回の予定

次回分科会の後で日程調整する。

#### 6. その他事務連絡

- ・異動等で委員の変更がある会社はメール等で事務局へ連絡すること。
- ・本指針について、制定が 2025 年となることから、クレジット等は事務局で全て 2025 に変更する。

配布資料：

【P11BWG-74-0】\_第 74 回水化学管理指針作業会議事次第

【P11BWG-74-1】\_第 73 回 BWR 水化学管理指針作業会議事録案

【P11BWG-74-2】\_標準委員会コメントによる水化学指針改定案

【P11BWG-74-3】\_転載許諾対応用リスト（3.19 時点）

以 上